

# 希少樹種を含む遺伝資源の保存に関する研究

福島県林業研究センター森林環境部  
平成15年福島県林業研究センター研究報告

## 1 部門名

林業－緑化－増殖・繁殖  
分類コード 18-09-08000000

## 2 担当者

齋藤直彦・渡邊次郎・五十嵐正徳・古川成治・川上鉄也・壽田智久

## 3 要旨

県緑の文化財や県内の希少樹種等について、遺伝資源保存方法の検討を行った。マツ類は養生施設内を高湿度に維持することにより、樹齢400年の老齢樹からでもつぎ木によるクローン増殖が容易にできることが分かった。

また、サクラ類は伸張の旺盛な枝にIBA 67ppm水溶液に浸漬したミズゴケを巻きつけた空中とり木により、比較的樹勢の衰えた母樹からでも後継樹を確保できることが分かった。夏挿しの場合、1品種ではあるが、養生施設内の空中湿度を高湿度に保ったうえで、従来の方法よりもさし穂を長く作り、葉を3～5枚程度に調整することで高い発根率が認められた。

## 4 その他の資料等

平成11～15年度福島県林業試験場・福島県林業研究センター業務報告第32～35号